

戰後教育資料

昭和廿三年九月

社會教育調查報告書

8-4
245

文部省社會教育局企画課

增田	40
----	----

一 序

二 社会教育の問題

(一) 道義の昂揚

(二) 民主主義の普及

(三) 文化の向上

三 社会教育施設

(一) 社会教育の振興

(二) 社会教育施設の拡充

(三) 学校教育の充実

四 社会教育研究大会の感想

五 後記

一 序

この周年は本年五月から七月にかけて全日本各都道府県
毎に行われた社会教育研究大会の形を参考として別
の会と調査票を配布して各自の意見を求めたもの
と取り纏めたものである。

提出された解答は二九六六通である。提出者の職業
別、年齢及性別の状況は別紙に及ぶ。この通りであ
るが、職業別では教育者が最も多く約四五%を占め、
四十才乃至五十才の者が三六%を占めてゐる。而して
男子と女子とを比較すれば男子が約四九%に達して
ゐる。それらの事實は社会教育に対する関心と関係が

- △ 勤務先または職業 (役名、職名、何々方面担当まで)
- △ 勤務先の所在地または住所
- △ 年令

この調査票はあなたが勤務先または所属される官庁や会社や団体などのいふかたの意見を求めるものではありません。あなた御自身の意見を個人の資格に於いて自由に書きこみ載せたいので。

(一) あなたの地方で現在まっさきに取上げられなければならないと思はれる社会教養上の問題はどうか方面の事をお知らせ下さい。現下最も重要な痛感せられる問題を三件以内提示して各件について回答する説明を附して下さい。

(三) 地方自治体の発展は地方の文化の発展に依るものがある。地方自治体の発展は地方の文化の発展に依るものがある。地方自治体の発展は地方の文化の発展に依るものがある。

二、前項で提示せられたやうな社会教養上の問題を解決する為には、やうな施策施設が行はれなければならないとお考へですか。またそれに因りして文部省或いは地方の関係当局または民間関係諸機関(例へば新聞社、放送局、図書館、病院等)に対して現在特に要望せられる事がありませんか。これにつき必要を記入して下さい。

三、今回の社会教養研究大会についての感想

別紙(四)

調査票提出之職業別定数及割合

職業	男	女	計	%
職業者	1304	52	1356	45%
教育者	358	2	360	12%
官吏	112	2	114	3%
宗教家	135	2	137	4%
新聞記者	95	96	191	5%
青年團	77	3	80	2%
婦人会	58	1	59	2%
農業	205	2	207	7%
商業	160	2	162	5%
工業	33	2	35	1%
社員	58	2	60	2%
議員	33	2	35	1%
縣令	36	2	38	1%
農事會	19	30	49	1%
無職	16	9	25	1%
學生	16	9	25	1%
醫師保健婦	16	9	25	1%
總計	2966	596	3562	

別紙 調査票提出者年齢別実数及び割合

年齢	男	女	計	%
20歳以下	36	21	57	14%
21-30	53	44	97	18%
31-40	55	60	115	20%
41-50	107	82	189	32%
51-60	48	73	121	17%
61-70	7	17	24	3%
71-80	1	2	3	0.4%
合計	296	296	592	100%

總計 二九六六

三 社会教育上の問題

調査票における第一の質問「現在あるべき教育のべきに取上げなければならない」と思はれる社会教育上の問題はいろいろあるが、その中で最も重要と思われるのは、社会教育の普及と、社会教育の質の向上である。この二つは、社会教育の発展にとって不可欠の要素である。以下に、この二つの問題について、それぞれの問題意識を述べ、その解決策を述べる。

(一) 社会教育の普及

社会教育の普及とは、社会教育の機会を広く提供することである。これは、社会教育の発展にとって不可欠の要素である。以下に、社会教育の普及の問題意識を述べ、その解決策を述べる。

りようによるものが大なる原因を考へる。社会安定
自道義の自覚をこの形に主眼を置くべきである。また
あるがこれには更に困難の思はれ、民衆を教育する
の建設もあつたかゝる事と考へられる。

5. 公徳心の涵養

「交通道徳の格守、公共物、官署、持物の涵養」

「隣保提携の精神の養成」

6. 農村人の非道的思想の排除

「特に農村人は独断的、排他的、封建的排他的
ある。採用者、引揚業者に対する態度を正すこと
を第一とし十分を期せよ」

7. 才三五人の特に朝鮮人の道義心の喚起を望む

8. 官吏の肅正

「清代通誌、明代通誌甚に吾人の七つは令皇官、
官吏に據ると記す。社会の乱れは官吏の不徳
行為に因り、事甚る下の有る。特に親務関係官

吏の汚行は老中に耳にする。社会教育上影響
甚大である。

(二) 民主主義の普及

「あつた。機会を失ふ。ゆゑ花策を通じ、民主
主義の普及及徹底を期す。この現状下も最も急
務である」

1. 憲法の普及

「新憲法が出来る。一、知識を普及する。早く
時期に普及させ、日本人の正しさを知ら
せ、これを根本問題である」

2. 女性解放

「女性の自覚を促す。教育を深めなければ
ない。同様に下層女子の

深遠な精神の必要とする。

3 官公署の民文化

4 階級意識の打破

「未だに階級意識は薄く見られる人がある。官に情ない地主とか、名門とか、村長とか、偉い者があると思っている」

5 封建性打破

「今尚農村の封建性は行跡が小なり。地主小作、男、女、同、交際、不慮、治冠、給、茶、祭、等。村の指導者自身も口では民主化を叫んでゐるが、裏では依然として封建性を固執している」

6 政治権力の打倒

「従来権力を有する勢力を有するが、今は今なほ健康な教育関係の人事を左右する勢力がある」

7 水準社内問題の解決

8 政治経済の刷新

9 本庶の民主化

「新しい本庶をいかに作り出すか。大人の子供の余口に対する態度が民主的に変化するに心を持たすべし」

10 村政を刷新する

11 男女同権の正しい認識

12 文化の向上

「一般に日本の文化の水準に比べて一般と低い上に更にその文化が都市に偏在している。農村の文化的レベルは都市との距離に比例して低く、その文化の水準を高めるには」

しなければ、日本再建の渋滞のなれば歩みは遅はれぬ。

1. 生活の改善

「生活を科学的合理的にして、ゆとりのある生活とする様にし、迷信を打破し生活を科挙化し合理化し、農業経営能率化し生産を増強し、生活に経済的ゆとりと時間的余裕をもたせ文化国民としての教養を積ませなければならぬ。」

1. 冠婚葬祭の簡易化

「結婚に多額の費用を投ずるの風は出来ぬものにしては、何れにせよ知らぬが、反面敗戦下の今日、食ふに介になく着るに衣なく住むに家なき、戦災者引揚場、傷兵軍人未亡人、守の服にうつつの思想は影響をこそ由々しき社会問題である。又莫大なる費用を要する結果、闇賣り、闇買はまぬがれ得るに実状にある。この如き敗戦風の撲滅の機は今日のごとき大変革の時期と見て、他に上懸の瘻止にせぬことは出来ぬ。」

2. 上懸の瘻止

ハ迷信の打破

ニ時局の励行

ホ男女交際の健全化

ヘ闘の進放

ト農村子女の美言法改善

「農村の子女は化粧法を知らず、(子)の改善(衛生)能率の見地から」

チ、野田の奨励

リ、野田の奨励

ニ健全娯楽の普及

一低級な映画、卑猥な歌謡曲、俗悪な読物

を絶滅して遊び、内に健全な思想が養はれる。ま
様な娯楽機関が欲しい。

3 環境の整理
「街を見ても公園に行つても今の如く、生活
環境は余りにも狭く貧弱であり紙紮を面うま
いと田舎は小」

4 保健衛生思想の普及
「町の衛生組合を消滅に利用して、町内各戸に
有の十二種腸虫出入は物虫の駆除、今こそ、病
源の絶滅を要する。此は、病虫と不潔不衛生
との関係を示し、充分に知らしめたい」

イ 精神衛生教育
ロ 性病予防
ハ 体之月の奨励
ニ 崇美の改訂

ホ 事故防止

ヘ 血族結婚の絶滅

コ 知的水準の昇揚

「荒山村に於ては、農政、政治、経済、科学、教育に於ける
世の進歩、理解の程度は、極めて低い。此の部、
ての五月、毎屆、小学校、小學校、上へ、海、足、下、卒
へ、入、る、は、何、ん、か、で、四、丁、戸、は、サ、リ、の、は、水、の、三、人
ホ、主婦、も、其、と、酒、が、腹、一、杯、の、め、つ、と、き、は、何、年、分、で
せ、う、か、砂、糖、も、使、つ、た、あ、ん、さ、を、死、ぬ、新、に、は、腹
一、杯、喰、べ、た、い、な、と、平、気、で、訪、し、合、つ、て、居、る」

6. 「家」概念の修正

封建的色彩の濃厚なる因習にあっては、
すべからず個人同一小自作より「家」といふものが生ずる
よ、その結果惹起する社会的悲劇のあり
りにもあつた
又二重を結ぶ是正

「田舎の小農者がたゞ(2)生活と閑生活との二
重生活としなければ生活してゆかない実情で
ある。従つて二重生活の培はれた道徳の發達
と見つゝある。強力な政治施策による二重
生活の清算」
と云ふこと

三、社会教育施策

先に述べた如くなる社会教育上の諸問題の解決す
るには如何なる施策・施設を必要とするかに対する意
見は、此書の中多くの場合所記の施策・施設は公共
関係に対する。また主要論者が之を認むるが、或る一つの
問題に対する解答は一つとは限らざるを以て、又一つの施
設・施策は或る一つの件の問題を解決するものか
ないもので、この施策・施設は府公共関係等に対
する要論をすべしと、纏めて社会教育の振興と
学校教育の充實の二つの柱とした。

(一) 社会教育の振興

社会教育上の諸問題を解決するには社会教育
を振興し、その施策を強力に実施し、施設の充

団の期を以て、専らその間に社会教育の進
歩を促し、また母の要りありと思ふ、夫れ地方の
事情即ち師土の状況に依りて云ふことは種々
あり、然るに、離散型の活動が、必ずしも効果的
でない。

成人教育

此を以て、老中には、まだ旧田の想により、封建
的で若い者運の言に耳をかさず、三木と一蹴
あり、其の多からざる。

成人教育

家庭を以て、善子女の家庭教育面等に
於ける知識の涵養、政治的知識の普及、婦
人は遠くへ出立けることは困難である、
婦人界の南進は、区域を以て、すること
に、母の教育、母親学校

を、收不、そのうち、其の暇を、活かし、其の遺憾を、
その多く、これは、家庭の中心である、母親に
重なる責任がある、と、四、十、学校の教育、
心として、母親教育を行はなければならぬ、母
親学校の目標として、
1. 家庭教育の向上をはかるため
2. 学校教育と連絡提携をはかるため
3. 社会生活の科学化、生活改善

を行つたため、
を、云ひ、その、
市町村の、
市町村の、
市町村の、

一般教養の向上、女性としての特殊教育の充
婦人団体の結成
女子青年会、青年会、青年会として、
女子青年会、青年会、青年会として、

系に持つてゐるが、婦人(身体を速かに大団団結して目的貫徹に邁進すべきである。

六 指導者教員

村首脳部を始め村会議員等の頭は非常に古い。これに対して民主的自覚、科文的常識を与へることが最も重要である。

七 労働者教育

職場の中心は壮年労働者にあるが、彼等は特に頑迷で、青少年労働者に対する影響力も大であるから、成人労働者に対する教育こそ最も急務である。それには、便用者側のこの方面に対する理解と同情が十分になければならぬ。

定期的労働学校の開設

組合幹部教員

新聞に講堂演説

ラヂオによる労働者教育

農漁民に対する科文技術教育

農漁民には科文的技術教育を施し、農漁業の合理化を図り、人間らしい生活が出来るように、時間的余裕を持たせなければならない。

労働者に対する職業教育

復員者、引揚者、適小コを職業を子へることは、彼等を商売に走らるゝのを防ぎ、馬に陥るゝから、救済の方法である。古例は彼等と通ずるにあまりに冷た過ぎる。

八 青少年教育

新日本建設の重宝は青少年教育にある。今日の如き混沌たる社会状態に至つては、その悪い影響を自取も少なく受けるのは、青少年である。従ふべし。

ゆる社会教育月の関係機関はこの線に副つて最も活発なる活動を展開しなければならない。

イ、通信教育月の急速の実施

主月年々学校廃止に伴つて主月少年に対する組織的教育機関として残されたいのは通信教育のみである。また一般人の教養の点からこの施設は重要な役割をなすと思はれる。

ロ、青年団員の年令を十八迄引き上げるのが適当である。

ハ、青年会議

時代に対する認識力、批判力を養成する爲に一つの自題を取りあげて討議する會合を作る。

四、各種教育月

イ、宗教教育月

現在の道義心とはいはは四半なる理論やヒューマンではよはや是正されたいと思ふ。敬虔な心、神を認めあがめる心、良心を甦らす

する心に各人がなるといふ點自である。宗教教育月にとつて積極的になすべきではないか。寺院の建築物を僧侶も遊休に近いたものが少くない。各宗とも中興から之を刺激してゐるようである。が文部省で之等の活動を活動と促しては如何。

ロ、衛生教育月

農村に潜伏伏してゐる慢性傳染病に業外ヨタ、これが絶滅を期しなけりてなるとは、戦中によつて多数の健康にして衛生向上情しむべき素質を持つた若年自と失つた日本民族の心不念頭に四週して措置せねばならぬこと、思ふ。勿論衛生に同じ無智を農民に限らばず總ての者に

大切であるが、之を徹底して農家に普及せしむるに
けがらばならぬ。

公共便所の設置と衛口対策にも努力する。
青年の健康の健全な育成と青年団の充実す
る。ふれ合いと対象とする衛生巡回展示会
の施設開講による衛生講習会の開催。

青年教育

農村の科学的しべに向上させ、田舎の連立により
科学的性を確立させる。場には支部当局に対し機械
農具等の農村科学研究所の充実を要する。並列
する。青年教育と社会教育機関とが一体となり
野山と山の手、土壌、肥料の研究、其他に
衛生の諸問題が研究が生まるべくして、

一、これは科学的研究の普及の必要あり、
アルミルラン等の農村への普及を促す。

職業教育

農民の向上のため、由來業者対策として、
一、職業教育の普及。職業教育の普及は、
加ふる。海産物の加工技術の普及。其他副業と
しても有望なる加工技術の普及。行はる。

市民教育

地方に在住する農業者も利用して、
不経済的なる地方民衆の教育。輸出。

へ、性教育

優生學上からも人道上からも性病予防は重大な問題であるが、殊に農村人は殆んどこれに關する知識を有してゐない。病院の医師、開業医の援助によつてこの教育の普及徹底を図らねばならぬ。

ト、政治教育

我知事が公選となつた事を以て民主日本が出来たといふ満足すべきではない。女子は勿論、青年壯年男子も一般に政治に對する関心と正しい理解が乏しい。従つて理想的な公民館を設け、本委員は常置制とし、政治、經濟、産業の三部門の専任委員とし、講習會、講話會、懇談會を開催し、この分野の常識の啓蒙に努めなければならぬ。

各種の會の結成

一、読書會

図書入手の斡旋をしく貰いたい。

ロ、レコードコンサートの開催

ハ、合唱隊

ニ、体育多々

ホ、演劇研究會

健全なる農村演劇の研究、脚本朗読會の奨励、演劇指導者の派遣。

六、文部省に對する要請

イ、県、郡、市、町、村に社會教育課係の設置

ロ、社會教育に關して縦と横との連絡を十分に爲す爲に社會教育リーフレットの発行。

ハ、中央講師の地方派遣

ニ、地方農山漁村の実態を十分調査せられたい。

ホ、社會教育振興の紙芝居(一番筒算り)の作製又は斡旋

7. 言論報道機関に対する要求

- イ、小説でない面白い読物を。
- ロ、何處でも誰でも歌を樂しい歌を。
- ハ、新聞に婦人欄を。
- ニ、新聞、放送内容を社會教育的に考へて貰いたい。
- ホ、新聞、報道機関は時流に便乗し過ぎる。

ニ、社會教育施設の拡充

1. 公民館の設置

イ、専任職員を配置する。

ロ、公民館における公民教育は農村の要望する科目に重点を置くこと。

ハ、図書館、農業作業場の設置

ニ、公民館の運営には青年団が當るのが適當である。

ホ、公民館は全村教育を目標として施設、経営すること。

ヘ、寺院、神社の社務所の公民館的利用

ト、公民館とは建物に否ず。

力あり熱ある館長を決定し、形式に眩惑されず可能なる実質面より先づ手をつけて行くこと。

チ、公民館は室内リライエーションセンターとしての各種の設備を必要とする。例へば映画、ピアノ、ピンポン等。

2. 図書館の設置

イ、簡易図書館を学校より公民館より或は村役場なりに設置する。寺院、神社の一隅を利用することもあり。

ロ、夜間利用が望ましい。

八、図書館に於ては良書の積蓄、入手方の斡旋を企及する。

3、科学館、博物館、民芸館の増設を企及。

4、運動場、公園、児童遊園の設置。これらは体育、娯楽の面からも交通事故の予防上からも最も必要である。

5、巡回映画、巡回演劇、巡回音楽、巡回文庫等、娯楽に恵まれぬ農村にとつては最も効果的社會教育方法であり、又俗悪な農村人の趣味、低級な文化水準を是正し、昂揚するに必要を手段である。

6、社會教育的各種行事の實施。

イ、芸術祭、音楽祭、郷土祭の開催

ロ、村、学区、郡、縣單位の体育競技会の開催

ハ、社會教育功勞者の表彰

ニ、母の日、の設置

ホ、民芸品展示会へ保健、衛生その他、各種の「ブロー」の完全實施

7、托児所、授産所の増設

廣く母親の為に

4、医師の街頭進出

疾病の予防、保健衛生の普及徹底のため

5、農業の多角的經營

イ、耕地整理

ロ、農道拡張、修築

ハ、酪農の奨励（栄養食と肥料問題の解決）

ニ、畜養農業

ホ、農業の機械化、電化

餘剩勞力、資材の活用

竹細工、藁細工、推拿の人工栽培、民芸品の製作等

10、文部省、縣當局に対する要求

イ、映画フィルム、映字機、圖書の斡旋、巡回文庫の實施を依頼する。

ロ、社會教育に關する豫算を十二人に計上されたい。

ハ、治安維持を為、警官の増員を囑られたい。

二 国民健康保険に対する国庫補助の増額
三 縣市社会課及び新聞社に対する要求

イ 盆踊りの活性化
音楽祭、芸能祭等を計画的に積極的に取上げて、今日の社会状況下において、一般民衆に最も親しまれて、ある盆踊りが豊かな情操を育んで上げること、道義のたいはいに相手をかける逆効果をもたらす結果となりつゝある。縣市社会教育課及び新聞社は協力して盆踊りの楽しい、美しい歌詞の募集に盡力されたい。

二 学校教育の刷新充実

学校教育は社会教育と共に文化国家を建設する上に於て、車の両輪をなすものである。この二者が各々その立場に於て活発なる活動をなす、また互に協力提携して、互の短を補いつつ事に當つて、初めて国民教育の完璧は期し得らるるのである。

1. 新制中学校設備の充実

イ 新制中学校の備品、教具、教材等は何時供給せられるのか。教材、教具に不足のない様にして、義務教育六年三年延長の価値ある教育を施される事を希望する。

ロ 新制中学校に於ける学校給食

新制中学校に於ても、小学校と同様学校給食を実施するべきである。

ハ 六・三制による学校増設問題

新制中学校の設立には半額を国庫負担と云はれるが、町村に於ては、このインフレーションの時代に半額でも容易に賄い切れるものではない。個人の穿附などでは到底駄目で町債等が許可されなければならぬ。

ニ 学校に社会教育専任教員の設置

学校職員中に社会教育専任の教員を置き児童、生徒の校外生活の指導、学校教育と社会教育の連絡の徹底下に當る。校内では公民科の指導の外各種の社会人として必要事項を指導する。

3 政治、経済に關する知識を教材に入れる。
小学校教員にはまた父母教育の役割をなすものであるからして教材に政治、経済についての簡単な基礎知識を盛り込むことが必要である。

4 法律 特に刑法の向題を教材に
日本人は一般に法律の知識を持たない。犯罪防止の上からも法律の知識を多少なりとも持たなければならぬ。

5 宗教の育

学校教育に、宗教に關する或程度の事項を入れてほしい。特定の宗教の布教宣傳にならぬ限り、生徒の希望に應じた宗教の研究等——これは學後の宗教入門へのほんの僅かな眼を開いてやる程度でもよい。現在の日本の家庭に於ては、宗教への初歩の

キリトキのものが興へ難いからである。

6 教員の資質向上、待遇改善

学校教育の完全なる遂行には、教員の資質の向上が第一の向題である。それは教員の再教育と優秀なる人物を得るための待遇改善が第一義である。また住宅難も教員不足の重大な原因となつてゐる。

7 戦災学校の復旧

戦災学校の速かな復旧を望む。校舎がなくては、教員も生徒も活けずして勉強が出来ない。

8 学校開放

学校教育の民主化のためにも、また社会文化の向上のためにも、学校の社会的進出は最も有効であり、大切である。

9 父母と先生の公について

よく、父母が集まりませんか。それ故に市内を小区域に分けて、三三制で集まりやうにしました。そして私共がそこへ出掛けます。その方の意見を全部集まりたい。そこで討議します。その期日は又母の方から定めて学校へ申し込むのです。

10. 学校参観日設定

毎月十日を父母の学校参観日としてみます。その機を利用して有識者又は学校の教員による社会教育上の講座を開いておる。

11. 文部省に対する要求

1. 青年学校の廃止を反対する。

六・三の九ヶ年の義務教育のみで、特に上級学校へ進めない農林青年の教育機関を中絶することは、青年の路上生活、教育を低下せしめることとなる。現在迄にたとへば青年学校の効果はなかつたとしても、今後は大いに効果ある社会教育機関とすべきことか切望する。

2. 視察教育について

児童によい映画を興えたい。所の常設館に良い児童向きのものが、月に二回巡回して来るやうに希望します。

3. 教育優先の体制を確立せよ

軍部絶対主義によって、今日の膨張を招来した臭を考察し、平和国家、民主国家を育成するためには、政府に於て教育優先の体制を確立し、文部省の地位を各省の最上位

にし、文相の地位を高め、教師の地位を高めることによつて、普く国民に教育優先の念を徹底せしめなければならぬ。

4. 文部省の自主性を確立せよ

と、各省の性格は弱々しいといふ感を興へる。時代に便乗し過ぎはしないか。青年学校教員を全部新制中学校にまわつていつて、そのために青年教育を断絶せしめた等は、その一例である。

5. 国民衆とつながりのある文部省に

6. 文部省は官民を曲はず、あらゆる機関に対して社会教育の振興に努めて、必要な協力を求むべきである。各省、各機関の根柢的、割據主義は過去の遺物である。新日本建設の先達たる文部省の御声にすべし、そのまゝは立ちあがって、力を合はせなければならぬ。

7. 質的點に一由 遵守せしむべきに在りたるが故に

8. 研究方法に多岐あり、従来の研究会に比し、活気ある

(左) 陪審員或討議法、講演、及實地考察その他の方
法をとり入し、特に討論と全面的にとり入れた点に極め

民主的であり、各人の刷新にもより、効果的であった

9. 軍政部、文部省、農の方々が如何に熱心に自由をよそ

する事、本事に努力してゐるに、小まかた知りし

10. 講演はものゝ重点的にポイントと纏めて説明し、講

壇の時間を短縮し、討論の時間をややくせつた

11. 今後とも、研究会を多岐の土地で催し、小ま

ことと希冀する

12. 一通り各題目とも骨がけは了解した

13. 題目の多岐、深さが是りなかつた

14. より課題と与へられた、実行は伴の困難、先

の定行の爲の準備会と他りたいと思はれ、至りて
も、先づ調査、法を準備、指導等

の途は伴の困難

15. 各科目とも研究は向かふなり、今後各部

内毎にせめて七八時間程の時間を与へて貰いたい

16. 研究会は、特に店り止むを得ない時は、自分

の關係する部門に於て出席せざるや、たゞと云

ない

17. 若くは、自任の講義、討論には、固く出席

せ、あつて、指導の責を、肩をなすべし

18. 研究会の趣旨は、長に、過る

19. 講演の要略を印刷し、配布するもの、は、かつた、用

と、小冊子、を、千分に、理解し、た、を、は、云、か、得、る、

19 全そ民の田圃が農子であるゆへに、社会教育の研究
会に於て農村問題のつりよるよい意見のすなわちその
果ては、

20 共産主義に對する正しい批判力と信心のこころを欠け
ておるものが多いのである。

21 講演中に事務的報告を長々とやつてゐる指導者も
あるが、こゝにはプリントで結構と思ふ

22 文部省が、指導者一人の非常な活躍をさへ
が、少くとも三人を派遣し、かつその目的指導者が、
つねに、

23 軍政官の講演時間と長さを、つねに

24 邦日を建設は、民の義にあるべき力の、途であ
ることを、つねに、

25 経費の、我々の研究、会には、あつても、形式、
つねに、

とも、つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、
今回の大会は、つねに、つねに、つねに、つねに、

つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、
一人の、つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、

つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、
根に、つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、

つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、
強、つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、

26 軍子人の思想とは、つねに、つねに、つねに、
つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、

つねに、つねに、つねに、つねに、つねに、

四、社会教育研究大会についての感想

1. 大いに啓蒙されるところが有り、其意義であった。然し尚
題の究明が抽象的に流弊、大切な具件その提示が少な
かつたのは物足りない感があった。

2. 課題が多いため、中途半端の感があった。

3. 極めて主体的な会であった。

4. 従来の講演式、説明式、演習式の会に比べて無
しきながら多大の收穫を得た。

5. 出まゝならぬ都市中を中核とした会場を選定せず、
尚、市、町村、単に広く開催し、一般農村農夫、労働
者も参加せしめられたかつた。

6. 長點などは云はれませんが、遠くから出席の者は食糧
持参、軽着も相違なものです。それで二日向宿でそれ
ほもの多量数の参加者が得られたらうと思ひます。

この休養の間に音楽と生かすな水か飲める設備

かたがたつた。

後記

調査票に記入した社会教育上の問題として返す私の
にははに聞するもの。民主主義の普及に關するもの及
文化の向上と厚生に関するものが最も多ければあるた。
社会教育施設として厚生を二つにわけるのは公民館
の設置と図書館の設置が絶好の點と占めらるる。